

第2章

基本方針

1. 基本目標

将来都市像の実現に向けて、各分野で取り組むまちづくりの基本的な方向性を示すため、次の6つの目標を掲げます。

基本目標1：産業・経済

「阿蘇の大地に挑戦が芽吹く、にぎわいのあるまち」

阿蘇の恵みを生かした農業・畜産・林業などの基幹産業を守り育てるとともに、スマート農業※22の導入や新規就農支援など、新たな技術や担い手の確保に取り組めます。また、自然・歴史・文化など多彩な地域資源を観光資源として磨き上げ、誘客促進や地域内経済の循環を図ります。地域の商業や産業創出を後押しし、市内外から人が訪れ、挑戦とにぎわいが生まれる基盤づくりを進めます。

基本目標2：子育て・教育

「阿蘇の伝統と文化に生まれ、夢が広がるまち」

地域全体で子どもを見守り支える体制を強化し、保育・教育・医療・保健・福祉の連携による切れ目のない子育て支援を推進します。また、ICT活用や探究型学習など、学びの質を高める教育環境の充実に取り組むとともに、郷土の歴史や文化に触れる体験を通して、ふるさとへの愛着と誇りを育む教育を推進します。本市で育つ子どもたちが、自らの未来を切り拓く力を身につけ、夢を持てるまちを目指します。

基本目標3：健康・医療・保健

「阿蘇のぬくもりに包まれる健やかでやすらぐまち」

市民一人ひとりが生涯を通じて健やかに暮らせるよう、継続的な健診受診により体の状態を知り、健康の維持増進のために日常的な運動やスポーツの機会を増やすほか、地域の交流を通じた心の健康づくりにも取り組みます。また、高齢化が進む中で、医療体制や地域包括ケアシステム※23の充実を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる体制を整備します。誰もが幸せでいきいきと暮らせる共生社会を実現します。

基本目標4：インフラ整備・防災

「阿蘇の暮らしを守り、誰もが安心して過ごせるまち」

頻発する自然災害に備え、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策を強化し、地域住民や関係機関との連携による自助・共助・公助の体制づくりを進めます。また、道路網や橋梁、上下水道、情報通信インフラの老朽化対策を行い、公共交通の維持・改善にも取り組みます。市民の日常生活や地域経済を支えるインフラを持続的に維持・更新していくことで、将来にわたって快適で安全な暮らしを確保します。

※22 スマート農業…ロボット技術や情報通信技術(ICT)などの先端技術を活用して、省力化や高品質生産等を可能にする新たな農業のこと。

※23 地域包括ケアシステム…高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるような、地域の包括的な支援・サービス提供体。

基本目標5：環境・自然

「阿蘇の草原と清らかな水を未来へつなぐまち」

本市特有の自然である草原や湧水・地下水、景観などを守り育てるため、保全・保護の取組を推進し、環境と調和した持続可能なまちづくりを進めます。市民・地域事業者と連携しながら、これらの豊かな自然と共生するライフスタイルを創出し、将来世代に引き継ぐ環境保全に取り組めます。

あわせて、活気あるまちを実現するため、企業と人が集う取組を推進します。環境調和型の企業誘致や、本市の魅力を生かした移住定住を促進するとともに、多文化共生※²⁴に取り組みながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。

基本目標6：行政運営

「阿蘇市民とともに歩み、信頼と誇りを築くまち」

行政サービスの利便性向上に向け、市民向けサービスのデジタル化などに取り組めます。また、市民参加を促進し、地域課題を共に考え、共に解決する協働のまちづくりを進めます。

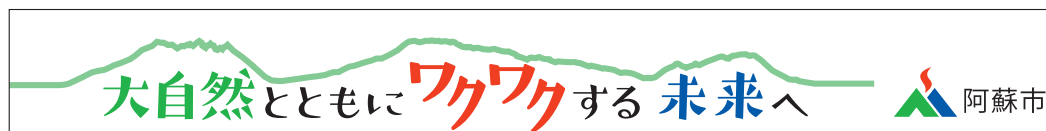
貴重な財源の効果的な活用と多様な人材の能力発揮による持続可能な運営を行い、信頼と誇りを感じられるまちづくりを目指します。

※24 多文化共生…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくこと。

2. 政策体系

基本構想 8年(令和7年10月～令和15年9月)

将来都市像



横断的な取組

- (1) 定住人口、関係人口、交流人口など阿蘇市にかかわる全ての人々の増加に向けた取組
- (2) 半導体関連企業集積及び中九州横断道路開通促進による経済波及効果の取込みと環境保護
- (3) 自然と農業に根差した世界文化遺産登録を見据えた持続可能な観光地づくり

基本目標

① 産業・経済

阿蘇の大地に挑戦が芽吹く、にぎわいのあるまち

② 子育て・教育

阿蘇の伝統と文化に育まれ、夢が広がるまち

③ 健康・医療・保健

阿蘇のぬくもりに包まれる健やかでやすらぐまち

④ インフラ整備・防災

阿蘇の暮らしを守り、誰もが安心して過ごせるまち

⑤ 環境・自然

阿蘇の草原と清らかな水を未来へつなぐまち

⑥ 行政運営

阿蘇市民とともに歩み、信頼と誇りを築くまち

前期基本計画 4年

(令和7年10月～令和11年9月)

重点施策

- (1) 雇用対策の強化 (2) 公共交通の充実
- (3) 医療体制の強化 (4) 子育て支援の充実
- (5) 行政と地域のデジタル化推進
- (6) 多文化共生の推進
- (7) 遊休施設の有効活用及び公共施設サービスの充実
- (8) あらゆる手段による歳入の増加
- (9) 企業誘致の推進

基本計画

- 1-1 農業の振興 1-2 畜産業の振興 1-3 林業の振興
1-4 農地の保護 1-5 世界に選ばれる観光地づくり
1-6 活気ある街並みとにぎわいの創出

- 2-1 多様な学びの場の提供と歴史文化の振興
2-2 子どもを産み育てやすい環境づくり
2-3 子どもの自主性を育む教育環境づくり

- 3-1 生涯スポーツ・運動の推進 3-2 人権尊重のまちづくり
3-3 安心して暮らせる福祉サービスの充実
3-4 健康で長生きするための支援 3-5 医療体制の充実

- 4-1 安全で安心な都市整備 4-2 災害に強いまちづくり
4-3 公共交通体系の充実
4-4 安全な水の安定した供給と適正な污水处理

- 5-1 人びとが集う魅力あるまちづくり
5-2 阿蘇の自然と景観の保全
5-3 循環型社会の構築

- 6-1 効率的で利便性の高い市民サービス
6-2 持続可能な財政運営